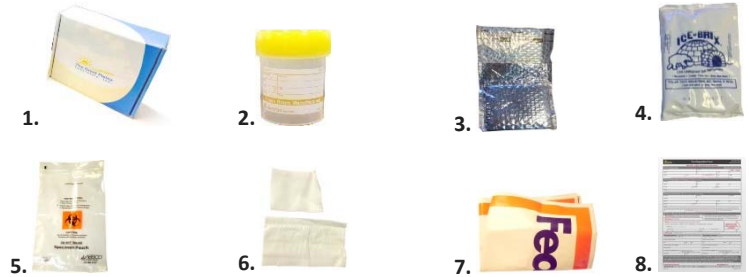


尿検体の採取方法-Japan

1 尿サンプルを採取する前に

この検査キットには以下が含まれています:

1. 箱
2. 尿カップ
3. 銀色のサーモバッグ (保熱)
4. 保冷剤
5. 検体と申請用紙を入れる袋
6. 吸収性シート
7. FedEx クリニカルパック (ない場合あり)
8. 検査申請書 (テストリクエスト用紙)



1. 箱は検体発送の際に必要なため捨てずにお取り置きください。保冷剤は平らにした状態で最低4, 5時間冷凍庫に入れ、発送の際、検体とともに梱包ください。
2. 検体は、凍った状態で日本から発送後、より正確な検査結果のために7日以内 (できれば5日以内) に必ず研究所に到着する必要があります。
3. 検査によって求められる尿の量が異なります (下記表参照) 2つ以上の検査を行う場合はそれぞれの必要量を足してご計算ください。
4. 検査申請用紙にもれなくご記入ください。
5. 検体の汚染を防ぐために、当研究所以外の尿カップの使用はご遠慮ください。
6. 女性の方は、生理中の尿の採取は避けてください。数値が正確に反映されません。

7. サンプルが薄まるのを避けるために採取日前の午後6時以降は水分を摂取しすぎないようお願いください。尿の色は黄色く (濃い色で) なければ検査はできません。薄い場合は検体を捨て、水のみで洗い、自然乾燥させて再度採取をお願いします。



1. 以下のURLにて採取の仕方の動画もご確認くださいませ。www.GPL4U.com/instructions.
2. ご質問がございましたら、担当医か研究所 +1-913-341-8949 email CustomerService@GPL4U.comまでお問い合わせください。

2a 検査ガイドライン (採取前に必ずお読みください)

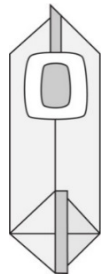
検査名:	最低量:	採取前の飲食制限:	尿採取:	採取後:
有機酸検査 (OAT) 菌有機酸検査 (MOAT)	10 mL	リンゴ、ぶどう、梨、クランベリー、またそれらの果物によってつくられたジュースや食品は 24 時間前から摂取をお避けください。	朝一番の尿を採取ください。何かを飲んだり食べたりする前に採取をお願いします	蓋をしっかりと閉め、発送日までに必ず冷凍庫で凍らせてください。発送の際は保冷剤とともに検体をお送りください。
グルテン/カゼイン・ペプチド	10 mL	大豆プロテインの摂取は検査前一週間は避けください。(大豆オイルやレシチンは摂取可能です)		
尿酸	10 mL	特記事項なし		
GPL-TOX (環境毒素)	10 mL	特記事項なし		
ホスホリパーゼ A2	10 mL	キレーション (キレート剤) は尿採取 48 時間前に一旦お止めください。(eg. DMSA, DMPS, EDTA)		
メタル尿 ポルフィリン	50 mL 10 mL	特記事項なし 下記の薬は検査結果に影響を及ぼす恐れがありますので、72 時間前に服用をお止めください: アクリフラビン、シプロフロキサシン、エトキサゼン(セレン)、ナリジクス酸、ノルフロキサシン、オフロキサシン、オキシテトラサイクリン、フェナゾピリジン、スルファメトキサゾール、テトラサイクリン	朝一番の尿を採取ください	尿カップへの採取後、ただちに左の写真の茶色いチューブへ尿を移してください。光に当たると正しい検査結果が届けできなくなります。蓋をしっかりと閉め、必ず凍らせた状態でご発送ください。

24 時間の尿採取	50 mL	特記事項なし	朝一番の尿は使用せず、2 回目から採取を始めてください。専用の大きな採取容器に翌日の朝一番の尿まで入れ、その間は容器は冷蔵庫に置いてください。	24 時間分の尿が大きな容器内で混ざります。合計量を検査申請用紙にご記入ください。必要量を黄色い尿カップに入れ、しっかり蓋を閉めて凍らせてください。送るのはこの黄色い蓋の尿カップのみです。保冷剤とともに凍った状態で発送してください。
-----------	-------	--------	---	--

2b 乳幼児のための採取バッグ

トイレ訓練をされていないお子さんがコレクターバックを使うことで一晩かけて尿を採取することが可能です。採取後、コレクターバックのみを送り返さないでください。

バックで採取した尿を尿カップに入れるか、尿が入ったバックをそのまま尿カップに入れて送っても構いません。



1. 尿採取のため、乳児の足を開いて陰部とその周りをしっかり乾かしきれいにしてください。
2. 採取バッグの、低刺激性の粘着部分をはずしてください。
3. 女の子の場合は、膣の部分にバッグをつけて、バッグが上向きになるよう取り付けてください。膣の周りの皮膚に粘着部をつけ、膣を広げてつけるようにしてください。
4. 男の子の場合は、ペニスの自然な形のまま、採取バックの穴にペニスを入れ、バッグは下向きにしてください。粘着部分を周辺にあててください。
5. バッグの上からおむつをつけてください。(おむつに穴を開けてバッグのポジションを確保することも方法の一つです。必要ならば、2つ目のおむつをつけて皮膚部分に触れるおむつをカバーすることもできます。)

3 発送準備、海外発送について(International)

検体の発送準備に関して:

1. 以下の用紙をご用意ください:
 - 検査申請用紙にご記入ください。必ず全ての必要事項へご記入をお願いします。
 - **FedEx "Airway Bill"** (送付伝票) に、同封の伝票サンプルを見ながら、必要事項を記入してください。伝票にトラック番号があるので、荷物の配達状況を追跡したい方は、番号を控えてください。
 - **コマーシャルインボイス**: ご記入後、3枚コピーしてください(計4枚) **この用紙は大変重要で、税関を通る際に記入漏れ等があると止められてしまい、研究所に届くのが遅れ、検査ができなくなる可能性もあります。**
2. 尿検体と吸収性シートを5の袋にお入れください。
3. 検査申請用紙を同じ5の袋の裏側のポケットへ折りたたんでお入れください。
4. 上記検体の入った袋を、保冷剤とともに銀色のサーモパック(3)へお入れください。
5. 上記のサーモパックを、箱に入れ閉めます。
6. その箱をFedExのクリニカルバックに入れてください。箱に検体が入っていない場合、輸送中にカップが壊れ、検査ができなくなった例がございます。その際も送料はお客様のご負担(後日請求)となります。

発送について:

<FedEx の場合>

1. 付着するポーチをクリニカルバックの外側に貼り付けてください。コマーシャルインボイス4枚をいれ、その上にFEDEXの伝票を貼ってください。(下からコマーシャルインボイスが取り出せるようになっているはずですが)
2. フェデックスに、集荷の電話連絡をします。FEDEXの集荷依頼の連絡先は**0120-003200**です。キットに同封されているGPL提供のフェデックス伝票を利用すると、送料が大幅に割引されます。検査申請用紙の最後のページに送料一覧とサンプルをご参考ください。2~3日の間に検体は研究所へ配達されます。*送料のチャージは検体が到着した後に行われますので集荷時にはお支払はございません。
3. **送料レートはガソリン価格により変更されることがあります。もし、検体を含むパッケージが何らかの理由で税関により審査が入ったとしても、GPLは返金の義務はないものとします。**

<EMS 郵便の場合>

1. FedExの資材はご利用されなくてください。付着するポーチをクリニカルバックの外側に貼り付け、コマーシャルインボイス3枚をいれ、その上にEMSの伝票を貼ります。(下からコマーシャルインボイスが取り出せるようになっているはずですが)
2. お近くの郵便局にお越しいただくか、集荷依頼の電話連絡をします。連絡先は**0800-0800-11**です。研究所へ発送する送料はお客様のご負担となります。
3. EMSなどの配送会社を利用される場合はお客様の責任でお送りください。税関での停止など、検体到着前のいかなる理由でもGPLは検体の保証等はいたしかねます。